

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	文学B		
英文授業科目名	Literature B		
開講年度	2004年度	開講年次	1, 2年次
開講学期	2, 4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-人文・社会科学科目-人文・社会科学科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	島内 景二		
居室	東1-815		

公開E-Mail	授業関連Webページ
shimauch@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>大正時代は、歴史小説の名作が一度に出現した時代である。その最高峰は、吉川英治の『宮本武蔵』。これらの名作は、大衆文学という世間の低い評価とは裏腹に、『源氏物語』や御伽草子の流れを汲む「文学の本流」である。</p> <p>純文学と大衆文学という、意味のない分類は止めて、もっと深く歴史小説を学ぼう。</p> <p>古典文学の流れを受け継いだ近代歴史小説の「神髄」を説明する。</p> <p>講義者が開発した独特の構造分析を駆使するので、諸君もその方法論に学んで各自なりに作品の分析を試みてほしい。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>特に、なし。</p> <p>ただし、前期に「文学A」を履修しておくこと、いっそう深く学習できる。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>特に、なし。</p> <p>ただし、前期に「文学A」を履修しておくことを、強く勧める。</p>

【教科書等】
<p>教科書：島内景二著『歴史小説真剣勝負』（新人物往来社）</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

最初に、小説を分析する方法を提示する。宝探しのストーリーによって、主人公の心の成熟を目指す、という日本文学の黄金パターンにメスを加える方法である。

以下は、具体的な作品の分析に入る。吉川英治の『宮本武蔵』、大佛次郎の『鞍馬天狗』、林不亡『丹下左膳』などである。単なるあらすじの説明ではなく、それらの文学がどのような伝統的な物語作法に則っているか、そしてどこに新機軸があったのかを、文化史的に解説する。

現代の司馬遼太郎、藤沢周平まで、何とか取り上げたい。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

学期末の論述式試験を、最重視する。ただし、学期途中で小レポートを課す。この小レポートを未提出であれば、試験の成績からワンランク下げる。また、時々出席を取る。

講義内容を理解しているか、講義に触発されて自分の考えを持つに至っているか、自力で文学作品の分析が可能か、などの観点から採点を行う。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

前期の「文学A」の受講者でなくとも、聴講を認める。

ただし、文学Aで講義した範囲である教科書の前半部分を、必ず通読しておいてもらいたい。

例年、不思議なことに、文学Aの成績よりも、文学Bの成績の方が平均点が低い。おそらく、前期で単位が取れたことに満足し、後期の学習がおろそかになっているのだろう。

前期の文学Aで「優」だった学生も、気を引き締めて、文学Bに望んでほしい。

【その他】